

電気技術史技術委員会

1. 活動の趣意

1.1 現代的意義

我が国の技術力並びに経済力の飛躍的進展に伴い、その産業技術は初期の導入技術から独自技術へと発展し、我が国は科学技術創造立国を国是とした活動を続けている。**科学技術創造立国として我が国が今後取るべき進路についての確かな示唆を得る上で、その電気技術史約百五十年の歴史を振り返ることは、極めて有益でかつ現代的意義を持つと思われる。**即ち、我が国電気工学の約百五十年間は日本近代化のみならず世界の電気工学発展史の一端を担うものであり、その分析は、**日本の工業が欧米のそれに追いつき、凌駕して世界に貢献するに至った経緯を明らかにする。**

1.2 新時代の活動

1988年に電気学会は、その百周年を祝った。そして現在、日本は従来の立場から脱して国際社会に於いて最先進技術国の役割を担おうとしており、また、技術者は新しい時代の中で自らの社会的責任を果たすことを求められている。この時期にあたり、**我が国電気工学の創成期から現在まで約百五十年の歴史を振り返り、そのあり方を自ら明確に認識する必要がある。**さらに、これを以て他の分野・諸外国の人々の正しい理解を得つつ、今後、我々が進むべき方向を見極める一助とする。

2. 活動の目的

- (1) 電気技術者による**電気技術史研究調査**の活発化
- (2) 電気学会会員・一般社会への**電気技術史に関する情報・知識の提供**
- (3) 日本の電気技術史に関する**物件・文献資料の所在把握とデータベース化推進**
- (4) 日本の電気技術史の**特質の解明**
- (5) 電気技術者の自己の存在の確認、および次世代電気技術者の啓発・育成支援

3. 活動分野

- (1) 電気技術史研究の進め方
- (2) 日本の電気技術史に関する調査・研究
- (3) 歴史から見た電気技術の位置と将来像描出、次世代電気技術者の啓発・育成支援
- (4) 他学協会等・外国との電気技術史に関連する交流

4. 予想される成果

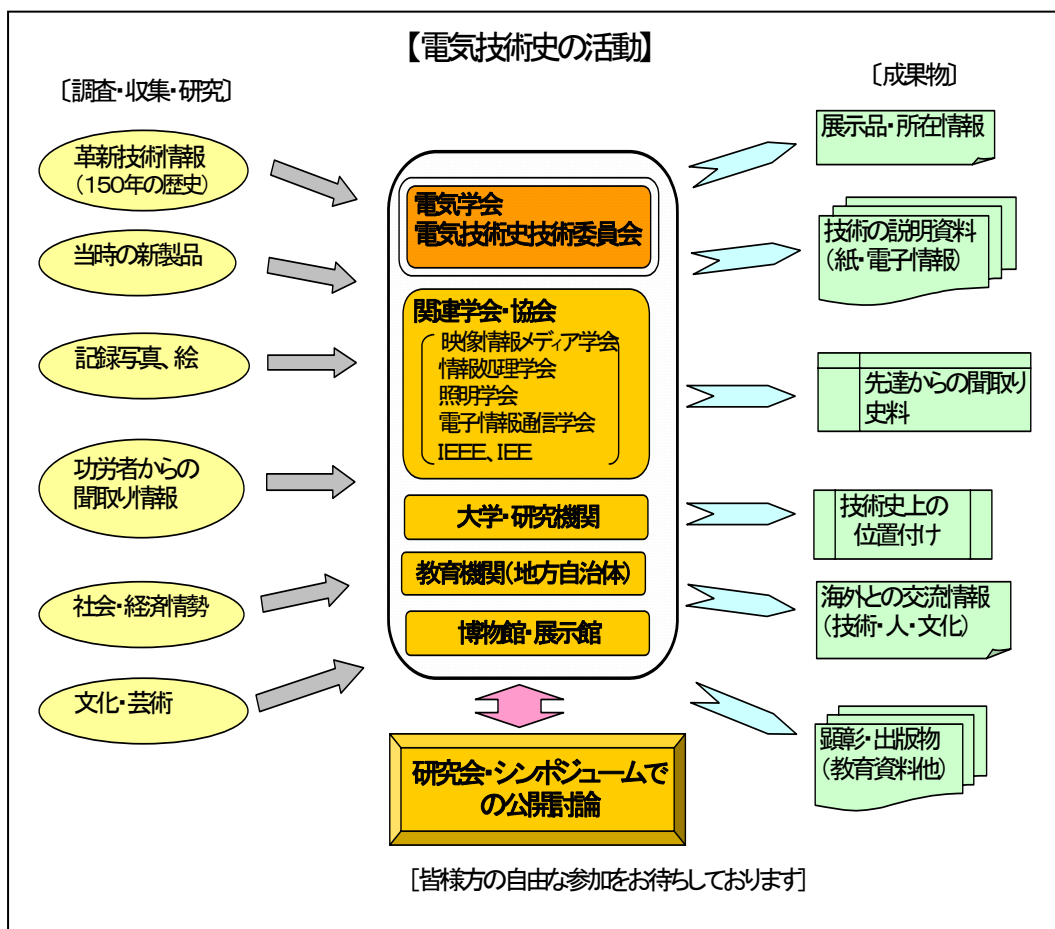
- (1) 我が国独自の電気技術的知識の歴史的経緯の中での蓄積と、**電気技術史調査研究の中心的機関**としての活動
- (2) 電気技術史上の**物件・文書資料の保存および所在の把握**
- (3) 日本の電気技術史の特質が解明され、**日本および世界の技術発展に果たした役割が明確になる**
- (4) 電気技術が社会の中で果たす役割が、一般社会においても確認され、創造性と進取の気象に富む**若人が電気工学を志し自らのアイデンティティを確立するのを促す**
- (5) 国内の諸学会・研究会および外国の電気学会の電気技術史研究調査活動との連携・協力

5. 具体的な活動

- (1) 調査専門委員会の設置
下部組織として調査専門委員会を設置し、多分野からの情報、意見を受けて活動を展開。
- (2) **シンポジウム・研究会の開催**・・・広く皆様方の参画、ご討論を歓迎します。
電気学会全国大会のシンポジウムに参加。各調査専門委員会の成果等を公開する研究会も開催する。
- (3) 内外情報の収集・交換・公布および提供

ニュースレターを年3回発行しております

- (4) 他学協会等との交流および交流活動の先導・取り纏め、国際交流
- (5) 顕彰・書籍出版、復刻、奨学等



関連トピックス

第5回電気の礎が発表されました
<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/30-foundation/index.php>



電気のデジタル博物館
 日本の電気電子・情報関連卓越技術データベース (DB-JET)
 公開中です
<http://dbjet.nii.ac.jp/pub/junior/index.html>



関連学会との連携活動

- ・電気電子・情報関連技術史委員会
電気技術史特別委員会(幹事学会:電気学会)として2002年5月に発足し、2004年度から電気電子・情報関連技術史委員会(幹事学会:電子情報通信学会)に継承発展し、関連5学会で連携し活動中。
- ・卓越技術データベース構築・公開
日本学術振興会卓越研究成果公開事業としてして拡充中
- ・オーラルヒストリ研究推進委員会
科研費により、関連7学会、電機大が連携して2005年12月から調査活動中。

海外との交流活動

- ・技術交流の歴史に関する国際共同研究調査専門委員会
韓国電気学会・IEEから委員を迎え共同で調査を実施。
- ・ICEE
(International Conference of Electrical Engineering)
ICEE '97(松江)以来、継続的にパネル・発表を実施。パネルテーマ「電気技術者の新しい役割」「技術移転 - その過去から -」「新千年紀における電気技術の課題」など。

研究会活動

- ・1991年に開始、年3回の実施
- ・最近の開催状況
第60回研究会(9月3日)開催
テーマ『電気学会顕彰「でんきの礎」および電気技術史一般』
第61回研究会のご案内
2013年1月中旬 関東地区での開催を予定
テーマ「電気技術史一般」
投稿お待ちしております